

授業科目 生物学の基礎

【担当教員名】 池上 喜久夫、生駒 俊和		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○			
【概要・一般目標：G10】 人体の構造と機能の基礎となる生物の基本的原理や機能を理解し、生物学の基礎知識を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 生物の成り立ちと仕組みについて説明することができる。 2. 生物の構成単位としての細胞について説明することができる。 3. 生命現象の基本的原理を説明することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	人体の構成	器官、組織、生体の化学組成		1	講義
2	細胞と細胞小器官	多様な細胞、細胞小器官の構造と機能		2	講義
3	細胞膜の性質	細胞膜の構造、物質の透過と半透性、浸透圧		2	講義
4	酵素	酵素の構造と基質特異性、温度・pHの影響、補酵素		3	講義
5	代謝	同化、異化、ATP、呼吸		3	講義
6	神経	神経細胞、刺激の受容と反応		2	講義
7	ホルモン	内部環境と恒常性、特徴		3	講義
8	DNA	構造、遺伝子の発現		1	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		スクエア最新図説生物 (三訂版)	吉里勝利	第一学習社	2010・870円・2月
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 定期試験 (100%)		【履修上の留意点】 医学的の知識を学ぶ上で基礎となる大切な科目であるため、学習した内容を復習しよく理解しておくこと。			